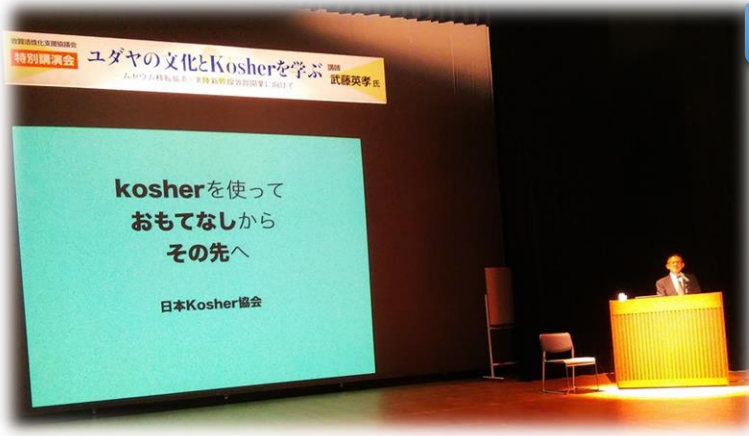


2019/10/30 特別講演会を開催しました！

ユダヤ文化と Kosher(コーシャ)を学んで 観光客をおもてなし！



講師

むとう ひでたか
武藤 英孝氏
日本Kosher協会

ユダヤ人観光客を迎える為には、Kosher(コーシャ)や安息日に配慮するなど準備が必要ですが、「難しく考えずに、まずは知る事から始めて下さい」と話されていました。

令和元年10月30日、「kosher 認証団体」と「日本企業」のマッチングとコーディネート第1号者である **武藤 英孝氏**(日本Kosher協会)をお招きし、当協議会主催の特別講演会を開催しました。

敦賀港開港120周年を迎え、北陸新幹線敦賀開業を控えた今、インバウンドの増加が期待されます。特にユダヤ人の方々は『人道の港』のつながりから、ぜひ敦賀へお招きしたいものです。しかし、独自の文化を持ち、kosher(ユダヤ教の食の規定)を守るユダヤの方々をおもてなしするには、学びと受け入れ準備が必要です。

そこで今回は、日本人として様々な企業と「kosher 認証団体」とのマッチングを行っている講師をお招きし、kosher の持つ可能性について実体験を元にお話頂きました。

『コーシャ』、『カシエル』または『コシエル』と呼ばれる「ユダヤの人々」の食事規定が、今や、世界的に「信頼性と安心」から『品質保証』の食品として、ユダヤ教以外の人々にも一般に広く認識され、我々にも馴染みのある食品にも「コーシャ認証マーク」が付与されている事を学びました。

敦賀とユダヤ人の歴史的な深い結びつきについてもお話頂き、ユダヤ人の方々の「敦賀」に対する認識度が高いのを知り、ぜひ敦賀にユダヤ人観光客を誘致したい、との思いを強くしました。

又、ユダヤ人観光客を手配できる立場にもある武藤氏から見ても、敦賀の観光地としてのポテンシャルは高く、敦賀が「食」の面に対応できれば、ユダヤ人だけでなく、食事に規則があるベジタリアンなど「インバウンドの食に対する様々な要望」に答えることができ、「他の観光地にない強みになる」と期待しておられました。

コーシャ食品の「認証取得」は少しハードルの高い問題に聞こえますが、ユダヤ人観光客の方々は「認証を取得した食品」しか食べられない訳ではないそうです。「食材・料理」の原材料によっては、「必然性と可視化の規則」に則って準備すれば、多くの人が納得して頂けると聞き、対応可能な飲食店・宿泊施設を敦賀に整える事ができるのではないかと感じました。

参加者からも、「まずは文化とその背景を学んで、官民一体で対応すれば、それはユダヤ人の観光客のみならず、世界へ向けて『敦賀』を発信するチャンスに繋がる」との感想が聞かれました。

今回の講演会で学んだことをどのようにして活かしていくかを協議し、各団体の皆様と連携して、敦賀の発展に寄与していきよう邁進していきたいと存じます。

この講演会開催に向け、共催の敦賀市をはじめ、後援の敦賀商工会議所・(一社)敦賀観光協会・港都つるが(株)、各団体の皆様にご協力頂き、深く感謝申し上げます。



敦賀活性化支援協議会

【事務局】敦賀市本町 1-6-1

敦賀活性化 支援



TEL 080-4253-1393

